



和の文様

くり返す形にこめられた、願いのかたち



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

文様の世界	3～4
自然の形の文様	5～8
季節の文様	9
家の文様	10～11
暮らしの中の文様	12～15
写真と体験	16～17
おさらい	18～23
まとめ	24～30

文様ってなに？

文様とは、くり返しえがかれる模様のことです。

文様とは、同じ形をくり返しならべてえがく模様のことです。着物や器、建物のかざりなど、日本の暮らしのいろいろな場所に使われてきました。

多くの文様には、自然の形をもとにした図案と、そこにこめられた願いがあります。



文様が使われる場所

着物

帯

器

ふすま

風呂敷

家紋

見た目の美しさだけでなく、意味をもたせてえがかれています。

ポイント

- 文様は、模様の形そのものに、健康や幸せへの願いがこめられていることが多いです。
- 同じ文様でも、色や組み合わせによって、ちがう印象になります。
- この教材では、代表的な和の文様を、意味とともに見ていきます。

やってみよう

- 身のまわりで、くり返す模様を1つ探してみよう。

.....

ワンポイント 文様の意味を知ると、着物や器を見る楽しみが、ぐっと広がります。

書いて覚えよう

すくすく育つ植物の形をもとにした文
様

長生きする生き物の形をもとにした文
様

円や波の形で、おだやかな暮らしを表す文様

ポイント

- 文様には、子どもの成長や、家族の健康を願う気持ちがこめられているものが多いです。
- 同じ文様でも、時代や地域によって、少しずつ意味の伝わり方がちがうことがあります。

やってみよう

1. 「願いがこめられた形」と聞いて、思いうかぶものを1つ書こう。

書いて覚えよう

植物や波の形をもとにした、代表的な文様を知ろう。

あさのは／hemp leaf pattern

せいがいは／wave pattern

5

七宝・市松模様

円や四角をくり返す、シンプルな文様を知ろう。

七宝

しっぽう / interlocking circles

同じ大きさの円を重ねてつなげる文様

市松模様

いちまつもよう / checkered pattern

2色の四角形を交互にならべる文様

ポイント

- 七宝は、円が途切れることなくつながる形から、円満やご縁が続くことを願う文様とされます。
- 市松模様は、江戸時代の歌舞伎役者が舞台衣装に使ったことから広まったといわれています。

やってみよう

1. 七宝か市松模様を、紙に簡単にえがいてみよう。

書いて覚えよう

亀甲・矢絰

亀の甲羅や、矢の羽の形をもとにした文様を知ろう。

龜甲

きっこう / tortoise shell pattern

亀の甲羅のような、六角形をならべる文様

矢絰

やがすり / arrow feather pattern

矢の羽の形を表す、細長い模様

ポイント

- 亀は長生きする生き物とされ、亀甲文様には長寿への願いがこめられています。
- 矢絰は、まっすぐ進んで戻らない矢の性質から、卒業式の袴などにも選ばれることがあります。

やってみよう

1. 長生きを願う文様として、亀甲以外に思いつくものはあるか考えよう。

書いて覚えよう

鱗・唐草

生き物の鱗と、つる草の形をもとにした文様を知ろう。

鱗

うろこ / scale pattern

三角形をならべて、魚やへびの鱗を表す文様

唐草

からくさ／arabesque vine pattern

つる草がのびていく様子を表す文様

ポイント

- 鱗文様は、魔よけの意味をもつとされ、能の衣装などにも使われてきました。
- 唐草文様は、つる草がどこまでも伸びていく様子から、長寿や繁栄を願う文様とされています。

やってみよう

1. 三角形とつる草の形、それぞれを紙に簡単にえがいてみよう。

書いて覚えよう

桜や梅の文様・秋草の文様

季節の花や草をえがいた文様を知ろう。

桜文様

春を表す、桜の花びらをえがいた文様

梅文様

早春に咲く梅の花をえがいた文様

秋草文様

すすきや萩など、秋の草花をえがいた
文様

ポイント

- 季節の花や草の文様は、その時期の着物や小物に選ばれることが多いです。
- 同じ花でも、えがき方によって、写実的なものと図案化されたものがあります。

やってみよう

1. 今の季節に合う花や草の文様を1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

家ごとに伝わる、しるしのような文様があります。

家紋とは、家や一族を表すしるしとして使われてきた文様です。植物や動物、道具の形などをもとにデザインされています。

武士の時代には、戦の場で敵と味方を見分けるためにも使われたといわれています。



ポイント

- 家紋は、着物の胸や背中、羽織などにつけられることがあります。
- 今でも、お墓や冠婚葬祭の場で、家紋を目にすることがあります。

やってみよう

1. 自分の家に家紋があるか、家族に聞いてみよう。

書いて覚えよう

家紋の種類

家紋には、いろいろな形の種類があります。

家紋のもとになる形

植物（桐・藤など）

動物（鶴・蝶など）

道具（扇・矢など）

自然（星・波など）

文字

同じ植物や動物でも、形の表し方によって多くの種類が生まれています。

ポイント

- 家紋のデザインは、平安時代以降、長い年月をかけて増えていったといわれています。
- 似た形でも、線の太さや向きによって、別の家紋として区別されます。

やってみよう

1. 好きな形を1つ選び、家紋のようなデザインを考えてみよう。

書いて覚えよう

- 着物の文様は、着る人の年齢や、着る場面に合わせて選ばれることが多いです。
- お祝いの中では、おめでたい意味をもつ文様が好まれる傾向があります。
- 文様の大きさや配置によっても、着物全体の印象が変わります。

1. 自分が着物を着るとしたら、どんな文様を選びたいか書こう。

器にも、和の文様がえがかれています。

茶わん

食卓で使う器に、季節の花文様など

湯のみ

麻の葉や七宝などの幾何学文様

重箱

お祝いの中で使う、縁起のよい文様

ポイント

- 器の文様は、料理を引き立てる役割も持っています。
- 同じ形の器でも、文様がちがうと、季節や場面の使い分けができます。

やってみよう

1. 家にある器で、文様がついたものを1つ探してみよう。

書いて覚えよう

地域の文様

文様の使われ方は、地域によってもちがいがあります。

ポイント

- 染めものや織物には、地域ごとに伝わる独自の文様や技法があります。
- 同じ文様でも、地域によって呼び名や図案の細かさがちがうことがあります。
- 地域の文様には、その土地の自然や歴史が反映されていることが多いです。

やってみよう

1. 自分の地域に伝わる文様や織物がないか、調べてみよう。

書いて覚えよう

実際に文様をえがいたり、探したりしてみましょう。

- 定規を使わなくても、三角や円をくり返すだけで、文様らしい形が作れます。
- 身のまわりには、気づいていないだけで、文様に近い模様がたくさんあります。

1. 好きな文様を1つ選び、紙にえがいてみよう。
2. 身のまわりで、文様に似た模様を1つ見つけよう。

ワンポイント 次のページからは、実際に文様を見たり体験したりしながら理解を深めていきましょう。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

実物を見ると、文様の細かさや工夫がよくわかります。

ポイント

- 着物や器の写真集で、文様の形と意味を見比べてみましょう。
- 美術館や資料館で、文様がえがかれた工芸品を見られることもあります。
- 身近な風呂敷やハンカチにも、和の文様が使われていることがあります。

やってみよう

1. 写真か実物で、和の文様を1つ見つけて、名前と意味を調べて書こう。

書いて覚えよう

定規やコンパスがなくても、フリーハンドで楽しめます。

- まずは簡単な三角や円のくり返しから始めてみましょう。
- うまく整った形にならなくても、くり返す楽しさを味わうことが大切です。

1. この中から1つ選んで、実際にやってみよう。
2. やってみて気づいたことを書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 和の文様 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

- 染めものや織物の産地ごとに、得意とする文様や技法がちがいます。
- 家紋のデザインも、家や地域によってさまざまな種類があります。
- 「この文様が正しい」と決めつけず、地域ごとの文化を尊重しましょう。

1. 家族に、家や地域に伝わる文様について聞いてみよう。

昔と今をくらべよう

文様の使われ方も、時代とともに広がってきました。

昔

着物や道具が中心

着物や帯

季節や願いに合わせて選ばれた

家紋

家や一族を表すしるしとして使われた

今

暮らしの中に広がる

文房具や雑貨

身近な品物のデザインに使われる

デザインのモチーフ

新しい商品や作品に取り入れられる

ポイント

- 形は受け継がれながら、使われる場面は少しずつ広がっています。

やってみよう

- 今の暮らしの中で、文様を使ってみたい場面を書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

文様を選ぶときに、気をつけたいことがあります。

ポイント

- お祝いのお場とお悔やみの場では、ふさわしい文様がちがうことがあります。
- 他のお家の家紋を、断りなく自分のもののようには使わないようにしましょう。
- 着物や小物を選ぶときは、季節や場面にあった文様かを考えましょう。

ワンポイント お悔やみの場では、はなやかな文様を避け、無地に近いものを選ぶのが習わしです。

やってみよう

1. 場面に合わせて文様を選ぶとよい例を1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきたことばを確認しよう。

自然の形の文様

☐ 麻の葉

六角形で麻の葉を表す文様

☐ 青海波

同心円で波を表す文様

☐ 唐草

つる草がのびる形の文様

生き物の文様

☐ 亀甲

亀の甲羅の形の文様

☐ 鱗

三角形で鱗を表す文様

☐ 矢絰

矢の羽の形の文様

季節の文様

☐ 桜文様

桜の花びらの文様

☐ 秋草文様

秋の草花の文様

☐ 七宝

円をつなげる文様

家の文様

☐ 家紋

家や一族を表すしるし

☐ 市松模様

四角を交互にならべる文様

☐ 文様

くり返しえがかれる模様

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。意味を知ると、文様がもっとおもしろく見えます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|-------------------|
| 麻の葉 | ● | ● ア. 家や一族を表すしるし |
| 青海波 | ● | ● イ. 四角を交互にならべる文様 |
| 亀甲 | ● | ● ウ. 六角形で麻の葉を表す文様 |
| 家紋 | ● | ● エ. 同心円で波を表す文様 |
| 市松模様 | ● | ● オ. 亀の甲羅の形の文様 |

2. 言葉を3つ書こう

1. 子どもの成長を願う六角形の文様は？ _____
2. 長寿を願う亀の甲羅の文様は？ _____
3. 家や一族を表すしるしは？ _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 長生きする亀の甲羅をもとにした文様 → （ 亀甲 / 唐草 ）
2. 家や一族を表すしるしとして使われた文様 → （ 家紋 / 秋草文様 ）

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|----------------------|------------|
| ☐ | 和の文様の名前を3つ以上言える | 麻の葉・青海波など |
| ☐ | 文様にこめられた願いを1つ説明できる | 健康・長寿などの願い |
| ☐ | 家紋がどんなものか言える | 家や一族を表すしるし |
| ☐ | 文様を1つえがくか、身のまわりで見つけた | 体験したこと |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

家族や友だちに話してみよう

学んだ和の文様を、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたい文様

由来や意味

自分が感じたこと

使ってみたい場面

Ken の例

伝えたい文様 麻の葉／由来や意味 まっすぐ育つ麻から子どもの成長を願う文様／自分が感じたこと 六角形の形に意味があると知って驚いた／使ってみたい場面 弟の産着に選びたい

ポイント

- 実際に文様の絵や写真を見せながら話すと、より伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

和の文様を、英語でも紹介してみよう。

文様

traditional pattern

くり返しえがかれる、意味をもった模様

麻の葉

hemp leaf pattern

子どもの成長を願う、六角形の文様

家紋

family crest

家や一族を表すしるしの文様

青海波

wave pattern

波の形をくり返す文様

Emma

Does every pattern really have its own meaning?

文様には、本当に1つ1つ意味があるの？



Ken

Many do, like wishing for health or a long life.

健康や長寿への願いがこめられたものが多いんだ。

やってみよう

1. 紹介したい和の文様を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

和の文様の世界は、まだまだ広がっています。

もっと知りたい人へ

本で

文様の種類と意味を調べる

美術館で

文様がえがかれた工芸品を見る

実際に

紙や布に文様をえがいてみる

これまでのふり取り

和の色

文様とともに使われる色を思い出す

着物の着方

文様が生きる着物の文化を思い出す

折り紙

紙で文様のような形を作る楽しさを思い出す

ポイント

- 季節7で学んだ「暮らしの中の和」も、これで一区切りです。学んだ文化を、日々の暮らしの中で見つけていきましょう。

書いて覚えよう

1. 和の文様とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん印象に残った文様は？ _____
3. これからえがいてみたい文様は？ _____

家族に和の文様について1つ紹介する

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

和の文様チャレンジ

紙とペンがあれば、いつでも文様を楽しめます。

えがこう

好きな**文様**を紙にえがいてみる

探そう

身のまわりの**和の文様**を1つ見つける

伝えよう

文様にこめられた**願い**を友だちに話す

こたえ

L28 麻の葉→ウ 青海波→エ 亀甲→オ 家紋→ア 市松模様→イ 2.
麻の葉 / 亀甲 / 家紋 3. 亀甲 / 家紋

L33 (例) 和の文様とは、くり返す形に願いをこめて、暮らしの中
でえがかれてきた模様のこと。

書いて覚えよう

和の文様 (Season 7 | No.70)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。